

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	電気・電子回路学演習		
英文授業科目名			
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	林 茂雄		
居室	東6-716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hays@pc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>電気回路については、キルヒホッフの法則、複素インピーダンス、入出力インピーダンスが主テーマ。</p> <p>等価回路のモデルのひとつとしてオペアンプを扱う。</p> <p>電子回路については、pn接合の電圧電流特性とロランジスタの増幅率が主テーマ。</p> <p>これらについて、実際の問題を解きながら理解を深める。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
電気・電子回路学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>特になし。</p> <p>ただし複素数(z)・対数・オイラーの関係式($\exp(z)$)については既に分かっているものとする。</p>

【教科書等】
課題プリントを配付。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

演習は自分で考え、かつ手を動かさないと効果が出ない。よって、授業が自分の力で問題を解くための場となるようにする。
また対話形式を採用して、諸君の曖昧な理解が確かなものになるよう工夫していく。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価方法

出席点 50%

レポート点 50%

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じる。できれば授業直後が望ましい。

【学生へのメッセージ】

電気通信大学の学生としてこの科目でやることぐらいは分かっていないと恥ずかしい。

【その他】

上記メールアドレスは全角になっているので自分で半角に変換して利用してください。